

# 1

製品登録



## 5年間の延長保証をお見逃しなく

[my.genelec.com](http://my.genelec.com) から製品をご登録いただくと、5年間の延長保証が受けられます。Genelec コミュニティに参加することで、質問したり、体験を共有したり、世界の Genelec ユーザーとのディスカッションに参加したりもできます。弊社サービスとテクニカルサポートについて詳しくは、[www.genelec.jp/customer-service/](http://www.genelec.jp/customer-service/) をご覧ください。

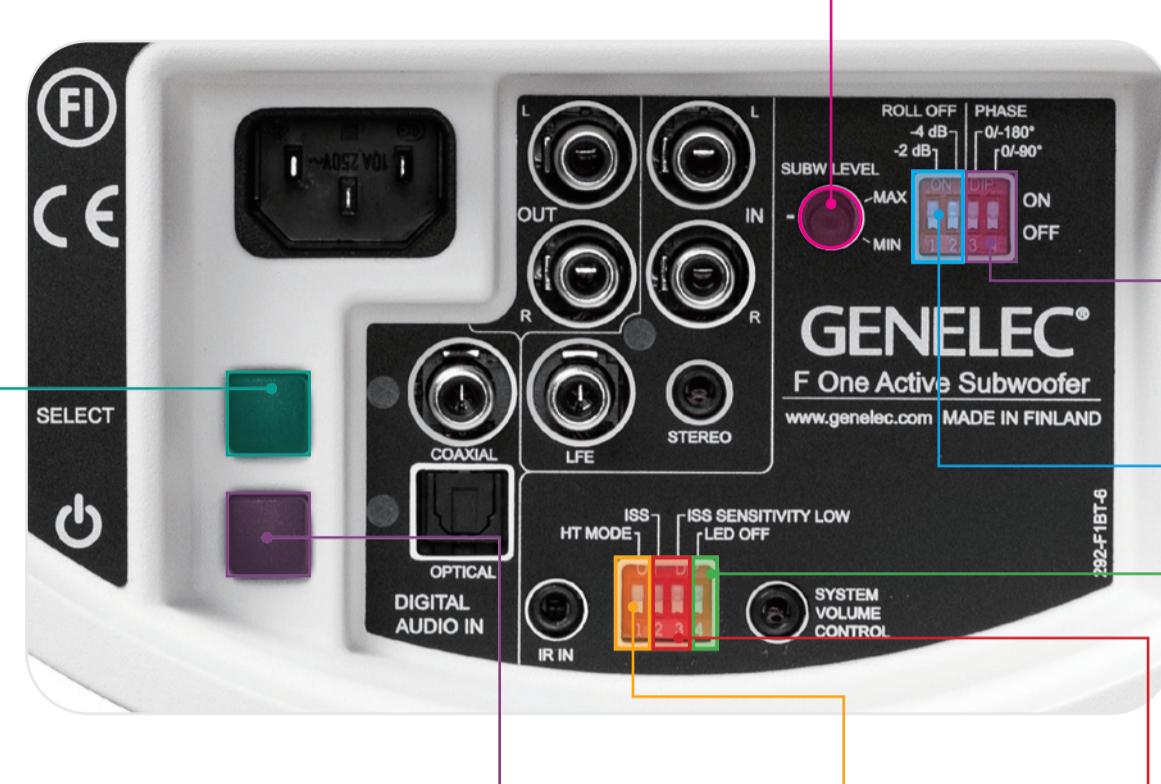


[my.genelec.com](http://my.genelec.com)

ここから登録

# 2

コントロール



[SELECT] ボタンでは信号入力を選び、IR リモコンのマッピング手順を開始することができます。

電源ボタン

[SUBW LEVEL] コントロールでサブウーファーレベルをメインスピーカーのレベルに合わせて調整します。

位相スイッチでサブウーファーとメインスピーカーの間の位相をマッチさせます。

[ROLL OFF] スイッチで超低域の過剰レベルを減衰します。

[LED OFF] スイッチでサブウーファーの足元の LED をオフにします。

[ISS] (Intelligent Signal Sensing) スイッチで ISS 機能のオンとオフを切り替えます。[ISS SENSITIVITY LOW] で ISS のトリガー感度を下げます。

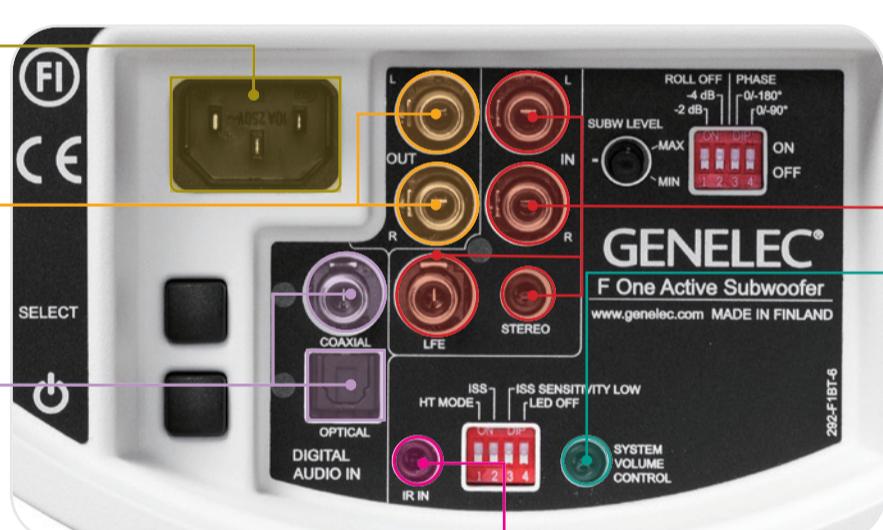
# 3

サブウーファーを接続する

主電源ケーブルをここに接続します。

メイン・スピーカーをここに接続します。

オプティカル/コアキシャル・デジタルソースをここに接続します。



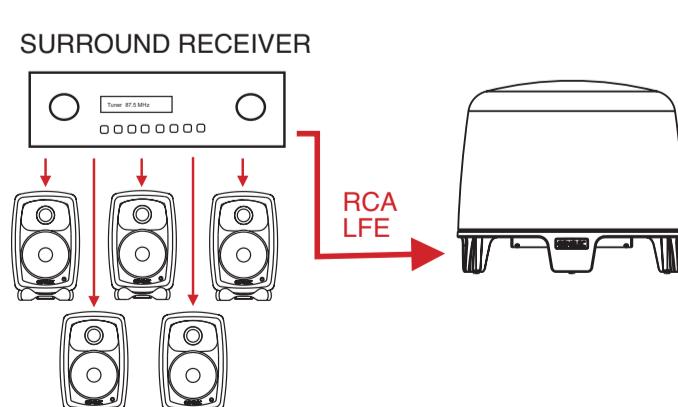
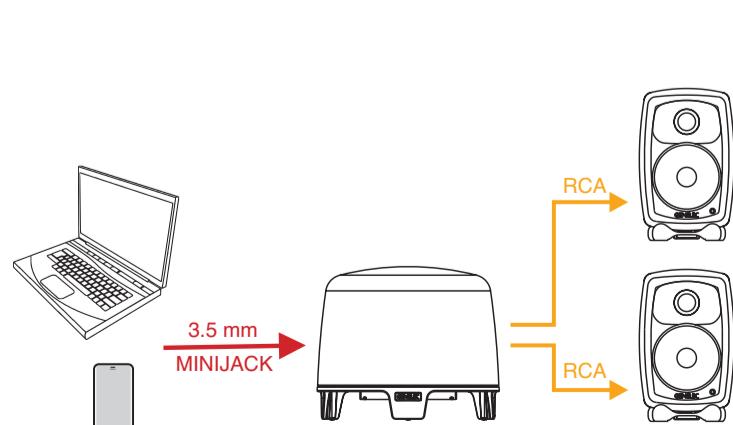
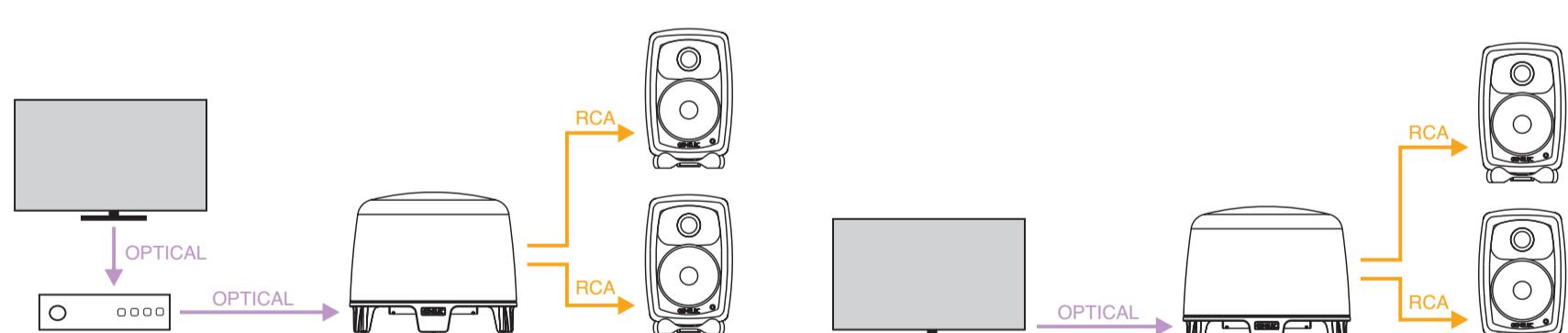
アナログソースをここに接続します。

このコネクターは 9310A 有線ボリュームコントローラー(オプション)に使用します。

このコネクターはサブウーファーに付属する IR (赤外線) レシーバー延長ケーブルに使用します(必要に応じて)。

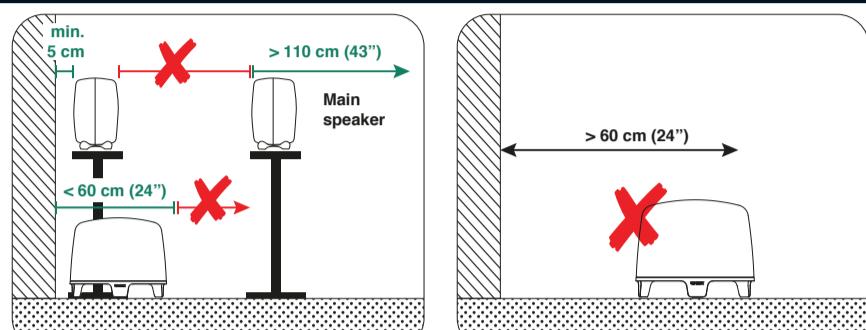
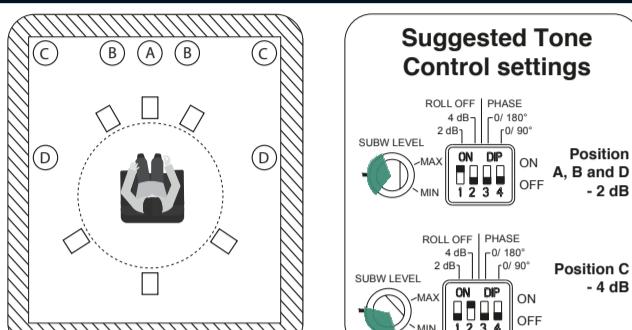
# 4

オーディオ接続図



## 5

## サブウーファーを設置する



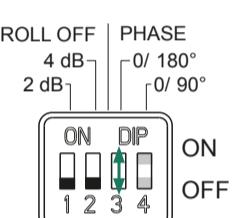
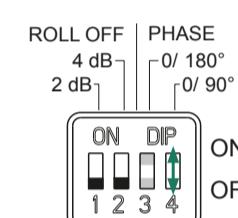
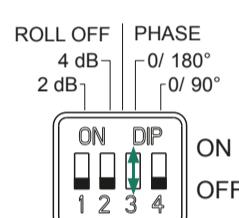
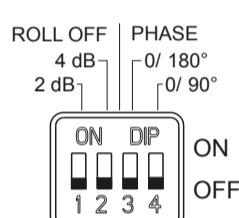
推奨されるモニター背後の壁とサブウーファーとの間の距離。この配置は低域のベストバランスをもたらします。

壁からの距離が広く空きすぎると低域の周波数特性が失われることがあります。60センチ未満に配置してください。

- サブウーファーを部屋の中心軸から少しずらした配置Bを推奨します。
- 部屋の中央軸上に設置した配置Aもほとんどの場合機能しますが、低域の損失が生じことがあります。
- 配置CとDは2台のサブウーファーを使用する際には優れていますが、1台のサブウーファーを使用する際にはステレオイメージの歪みにつながることがあります。

## 6

## 位相を調整する



1. 85 Hzのテスト信号をサブウーファーのLまたはR入力に供給します。位相調整は、サブウーファーに近い方のメイン・スピーカーを使用して行います。

2. -180° 位相スイッチのオンとオフを切り替えて、リスニング位置でサウンド・レベルが最も低くなる位置に設定します。

3. 次に-90° 位相スイッチのオンとオフを切り替えて、もう一度サウンドレベルが最も低くなる位置に設定します。

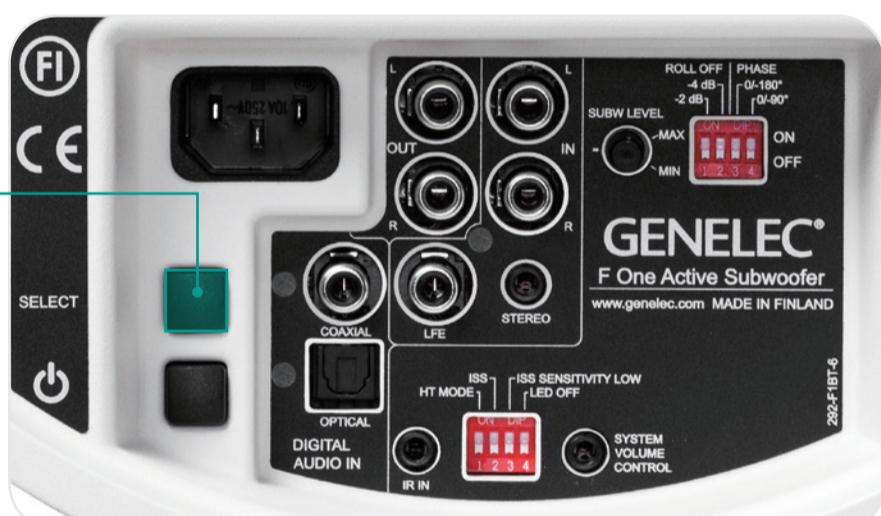
4. 最後に、-180° 位相スイッチを真逆に設定します。

## 7

## ソースを選択する

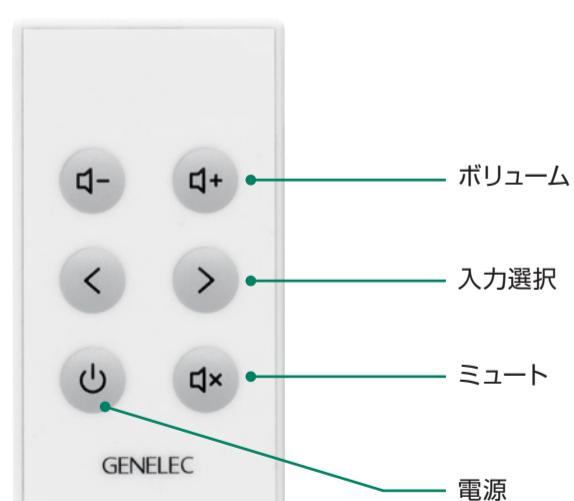
## 選択ボタン

サブウーファーの選択ボタン、またはリモート・コントロールの[<]と[>]ボタンを押して信号ソースを選択します。



## 8

## リモートコントロールとソースLED



詳しくは弊社ウェブサイト [www.genelec.jp](http://www.genelec.jp) をご覧ください。オペレーティングマニュアルのダウンロードはこちらから：

